

中国山東省棗荘・台児荘大戦記念館で、中国側関係者 3000 人、日本側関係者 40 人を迎え、孔子、孟子、周藤彌兵衛翁、清原太兵衛翁の銅像完成出発式を行った。

※棗荘・台児荘は、米国から最新兵器を提供された国民党と共産党の国共合作の地で、陸軍松江第六三連隊が全滅した場所。

◆松江 63 連隊・松江工業高校・陸軍墓地



松江工業高校の碑



かつて松江 63 連隊が練兵場として使っていた建物



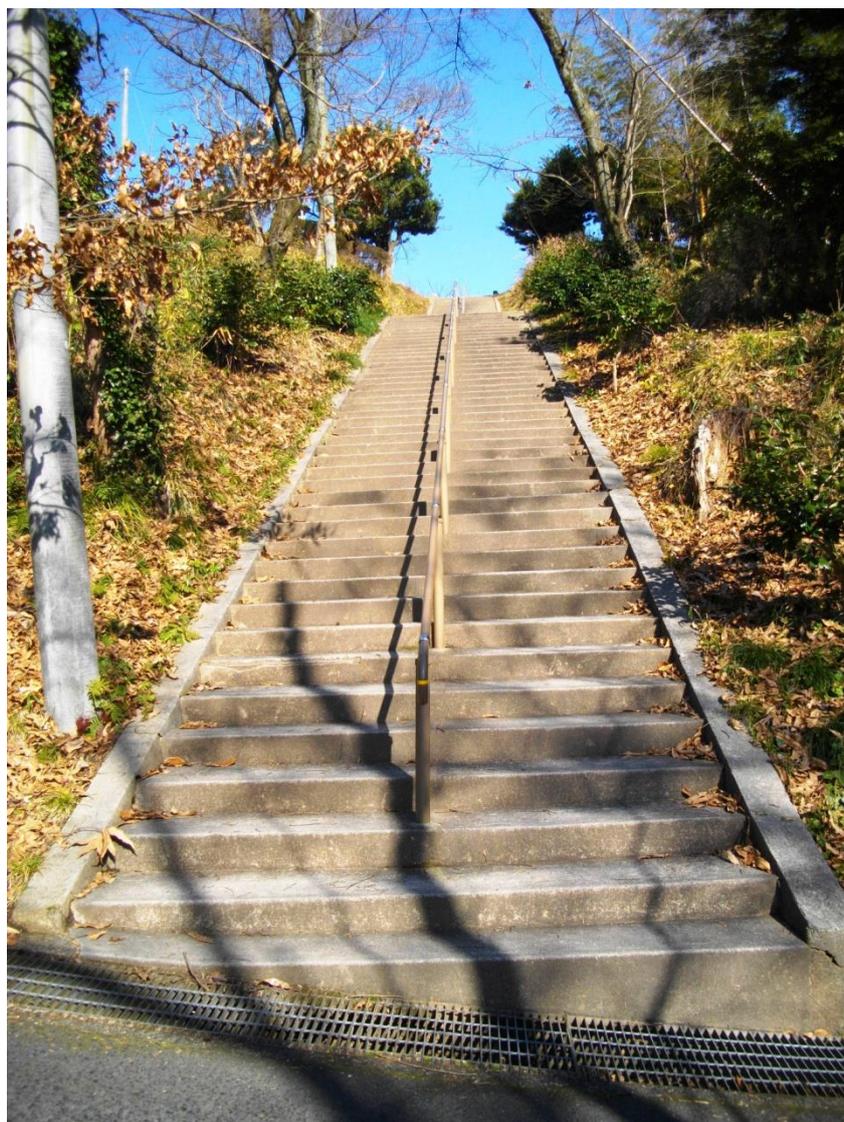
現在は上の建物は壊され煉瓦壁の一部が保存されている

#### ◇松江工業高校とスサノオマジック

かつて数度の全国制覇を果たした松江工業高校をはじめ、島根県は伝統的にバスケットボールが盛んな土地柄であり、これを背景に、日本プロバスケットボールリーグに所属する島根スサノオマジックが誕生した経緯があります。

松江工業高校のバスケットボールチームは、高校前方の小高い山にある緑山公園までのランニングと数十段ある階段ダッシュ、段跳ばしジャンプによって鍛えられたそうです。

緑山公園への階段



◇陸軍墓地

松江での桜の名所の一つである緑山公園は、松江陸軍墓地の跡地です。

公園内には慰霊碑や聯隊歌碑、墓地当時の燈籠などが残っています。



(左) 陸軍 63 連隊の「揚光」燈籠 (昭和 10 年建立) (右)「忠魂」燈籠 (昭和 13 年建立)  
右は満州事変「凱旋」記念の燈籠で、笠の四隅が意気揚々と跳ね上がっているのに対し、  
右は 63 連隊に多数の戦没者が出た台見荘の戦いの「慰霊」燈籠で笠の四隅もうなだれて見える。



慰霊塔背後にある歩兵第63連隊歌碑 昭和57年に建てられている。

#### 《碑文より》由来

此地は歩兵第六十三連隊の古志原移駐と共に陸軍墓地と定められ、満州事変には故陸軍少将飯塚朝吉他一八一名、日支事変には故陸軍中佐大村省吾他約二千名を更に歩兵第百六十三連隊始め多数部隊の編成と共にこれ等に属する戦没者がことごとく、この地に葬られた。然るに終戦以来かへりみる者も稀であったのを昭和二十三年十月松江市宗教連盟及び松江市旧在郷軍人有志が墓地を整理し、本慰霊塔を建立したものである。

ここに終戦二十周年を記念し一部の補備改修を加え更に当山縁故の戦没者はもとより、松江市周辺の陸海空軍の戦没者を招魂し奉祀するものである。